

1 塩酸リトドリン投与中に好中球減少症を  
2 きたし G - C S F を投与した一症例

3  
4 長嶋友香 市原禎恵 岡澤恵美子 脇田智恵子  
5 広橋いつ子 ( 社会保険船橋中央病院検査部 )  
6 後藤俊二 ( 社会保険船橋中央病院産科 )

7  
8 【目的】切迫早産の治療として用いられる塩酸リト  
9 ドリンの副作用には、頻脈、動悸、顔面紅潮、手指  
10 振戦などがあげられるが、その他に重大な副作用と  
11 して肺水腫、心不全、好中球減少症、横紋筋融解症  
12 がある。今回、塩酸リトドリン投与中に好中球減少  
13 症をきたし、G - C S F を投与した 1 例を経験した  
14 ので報告する。

15 【症例】28 歳、女性。妊娠 29 週 6 日。骨盤位・陣  
16 発のため前医にて塩酸リトドリン 3A/40 投与するも  
17 切迫症状が強いため母体搬送となる。入院時、推定  
18 胎児体重 1337g, 子宮頸管長 32mm, 羊水量指数 8, 子宮  
19 口 close。

20 【報告】入院時の血液検査では白血球数 10200/  $\mu$  l,  
21 好中球数は 70.1%。前医より継続して塩酸リトドリン  
22 3A/40、マグセント 19ml/h にて投与。その後、塩  
23 酸リトドリン 3A/20 にて投与継続。投薬 22 日目、血  
24 液検査にて白血球数 3100/  $\mu$  l, 好中球数 0.0%へと急  
25 激に減少。塩酸リトドリンの投与を中止し、マグセ  
26 ント 19ml/h のみとなる。同日より G - C S F 製剤グ  
27 ラン 75  $\mu$  g の投与を開始する。G - C S F 投与開始  
28 翌日、白血球数 4800/  $\mu$  l に上昇するが好中球数は  
29 1.0%であった。G - C S F 投与 4 日目、白血球数  
30 12800/  $\mu$  l, 好中球 18.5%まで回復。以後、マグセン  
31 トの投与のみで陣発はなかった。この症例は製薬会  
32 社より厚生労働省へ報告された。

33 【考察】切迫早産の治療薬である塩酸リトドリンの  
34 投与において、重大な副作用で好中球減少症をきた  
35 す可能性がある。これを早期発見するためにも、血  
36 液検査にり白血球数および好中球数に注意する必要  
37 がある。

38 047-433-2111 ( 内線 2603 )  
39